

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **753** July 2021

Special Issue : The Present of "Independence Support" in Japan (1)

- Introduction to the Special Issue KATADA Kaori
 Youth Support Policy and a Bulimic Society..... OKABE Akane
 Full Management Brought about by Children's "Independence"
 Support through Learning SupportABIRU Kumi
 Governmentality and the Independence Support for Public Assistance :
 Incentive, Conditionality, the Poverty-Industrial ComplexSAKURAI Keita

Note

- The Development of the Joint Struggle of Opposition Parties Including
 the Japanese Communist Party..... NAKAKITA Koji

Book Reviews

- SHIMOEBISU Miyuki, *Family and the Family Registry in Japan*
 HORIE Yuri
 TANAKA Tomoko, *Poverty of Families of Persons with Intellectual Disabilities*
 TSUCHIYA You

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research MeetingSHIMIZU Yoshihito

The Institute's Activities in March 2021

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

753 2021.7

【特集】「自立支援」の現在(1)

- 特集にあたって 堅田香緒里 1
 若者を食べ吐きする「若者自立支援政策」 岡部 茜 4
 学習支援を通じた子どもの「自立」支援がもたらす管理の全面化
 阿比留久美 18
 生活保護における自立支援と統治
 ——インセンティブ, コンディショナリティ, 産福複合体(貧困-産業複合体)
 桜井啓太 31

■研究ノート

- 野党共闘への道——連合政権と選挙協力をめぐる日本共産党の模索
 中北浩爾 48

■書評と紹介

- 下夷美幸著『日本の家族と戸籍——なぜ「夫婦と未婚の子」単位なのか』
 堀江有里 64
 田中智子著『知的障害者家族の貧困——家族に依存するケア』
 土屋 葉 69

社会・労働関係文献月録 74

月例研究会 清水善仁 81

所報 2021年3月 82

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

日本労働研究雑誌

No.731 2021年6月号

定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

特集「労働者を守る公的機関のいま」

- 提言 労働における法と「論理」 山川 隆一
- 論文 労働政策審議会——労働政策の形成過程における合議体の機能 諏訪 康雄
- 現代の最低賃金審議会改革における課題と展望 藤田 安一
- 労働基準監督行政の現状と課題——労働基準監督署の視点から 池山 聖子
- 公共職業安定所は国民の苦境にどのように向き合ってきたか 奥津 眞里
- 労働審判手続による労働紛争解決のパラダイムシフトと今後の課題 浅野 高宏
- 紛争調整委員会による個別労働紛争のあっせんの現状と課題 村田 毅之
- 労働委員会制度の直面する課題 道幸 哲也
- 論文(投稿) コロナ禍初期の緊急事態宣言下における在宅勤務の実施要因と 石井加代子
所得や不安に対する影響 中山 真緒
- 書評 小川慎一 著『日本の経営としての小集団活動』 山本 勲
- 論文Today 差別のメカニズム——駐英米軍データを用いたコンタクト仮説の検証 小松 史朗
- フィールド・アイ 点描：パリの生活（パリから③） 丹治 伶峰
- 神林 龍

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2021年版 第91集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

——おまな内容——

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
- 《特集1》 コロナ禍の雇用・暮らしへの影響とその構造的背景・政策課題
- 《特集2》 医師の長時間労働問題と労働運動
- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

《付録》 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します



本体16,500円(税込)
A5判・上製・568頁

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

労働の科学

Digest of Science of Labour

2021年5月号
76巻5号

定価 1,200 円(税込)
年間購読 13,000 円(税込)

5

【特集】産業博物館を訪ねて

- ◆炭鉱の街で石炭の歴史に学ぶ ……大牟田市石炭産業科学館
- ◆活字のぬくもりを今に伝える ……アジア活版資料館
- ◆新たな食文化の創造を目指して ……味の素の文化センター
- ◆モノづくりの大切さを次世代へ ……トヨタ産業技術記念館
- ◆口絵 広がる参加型職場環境改善・5 ……仲尾豊樹
- ◆巻頭言 これからの労働科学研究所⑤ ……鬼木 誠
- ◆凡夫の安全衛生記・52 「同じ立場の人たち」 業界活動を通して知る ……福成雄三
- ◆漂流者たち——クミジヨの肖像・3 ……本田一成
- ◆大原孫三郎と清水安三・3 ……兼田麗子
- ◆ILOインド・南アジアこぼれ話・2 ……川上 剛
- ◆「#教師のバトン」で伝わる教職員の過酷な勤務環境・2 ……藤川伸治
- ◆Talk to Talk ……肝付邦憲
- ◆チャレンジ! SDGs ……泉 貴嗣



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/